ボーリング柱状図

調査名 姪浜旅客待合所立体駐車場新築工事地質調査業務委託

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

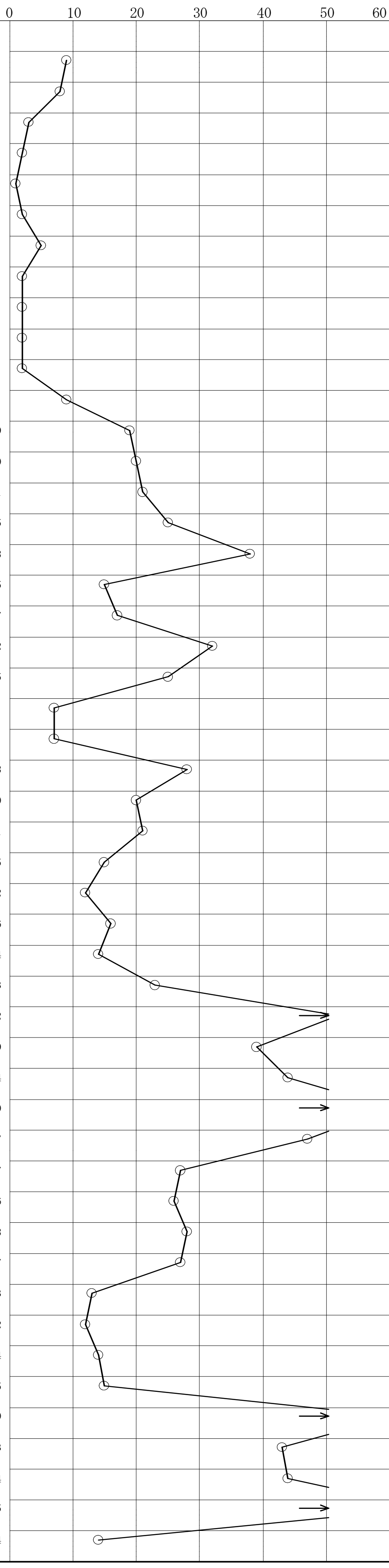
ボーリング名	No.1	調査位置	福岡市西区愛宕浜3丁目1-1	北緯	
発注機関	福岡市港湾局　建設部　施設課	調査期間	平成 28年 1月 5日 ～ 28年 1月 13日	東経	
調査業者名	平和地研工業株式会社 電話（092-751-7625）	主任技師		現場代理人 / コア鑑定者	
ボーリング責任者	中村　和仁				
孔口標高	-0.06m	角度	180° 上 / 90° / 下 0°	方向	北 0° / 270° 西 / 90° 東 / 180° 南
総掘進長	49.00m	地盤勾配	水平 0° / 鉛直 90°	使用機種	
試錐機	D-1	ハンマー落下用具	自動落下式		
エンジン	NFD-12	ポンプ	BG-3		

標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
-2.06	2.00	2.00	砂礫	茶～暗茶	緩い		0.05m　アスファルト 0.50m　敷き砕石 10cm前後の礫を混入する細～中砂層
-3.86	1.80	3.80	礫混じり砂	白灰茶	緩い		細～中砂の砂層 3.0m付近から細～粗砂となり小礫（3mm程度）を混入し含水量やや多い
-6.76	2.90	6.70	砂混じり粘土	暗灰		軟らかい	全体に細～粗砂、貝殻片を混入し、含水量やや多く粘性強い
-7.66	0.90	7.60	砂	暗灰	緩い		細砂主体の砂層、やや緩い
-12.36	4.70	12.30	砂混じり粘土	暗灰		軟らかい	全体に細～粗砂、貝殻片を混入し、含水量やや多く粘性強い
-26.26	13.90	26.20	礫混じり砂	暗灰～黄茶～淡灰	中位～密な～中位～緩い～中位		細～粗砂で構成され部分的に粘性土を混入し均一でない 部分的に密な砂層を挟む 5～10cm程度の礫が点在し、15.6m付近は礫やや多い 20～23m間は砂・粘性土・砂礫層が10～20cm幅の互層状で含水量やや多くなる
-27.76	1.50	27.70	砂礫	茶～青灰～淡灰	中位		細砂主体で礫、粘性土を混入し含水量やや多い
-30.36	2.60	30.30	粘土	暗茶～青灰		硬い	全体に固結状であるが、部分的に含水量やや多い砂質状を呈す
-31.46	1.10	31.40	砂混じり粘土	青灰		非常に硬い	全体に砂質状の粘土層、細～粗砂層を挟む
-32.56	1.10	32.50					
			礫混じり砂	茶～暗茶	非常に密な		細～中砂主体で全体に非常に密な砂層 2～3mm程度の小礫を混入している
-35.76	3.20	35.70	砂礫	茶～黄茶	非常に密な		5～10cm前後の礫を混入し全体に非常に密である 砂・礫・硬い粘性土が混在する 砂部は細～粗砂で均一でない
-39.96	4.20	39.90	粘土混じり砂	青灰	中位		礫を混入する砂層で、全体に圧密されており密である 部分的に砂質粘土層を挟む
-45.36	5.40	45.30	粘土	黄茶～茶～青灰茶		硬い	全体に固結状を呈す硬い粘土層 部分的に砂質状粘土が見られる 40.5m付近から含水量やや多くなる 42.0m付近に木片等の有機物を混入する
-48.76	3.40	48.70	砂	青灰～暗灰	密な		上部は小礫を混入する、細～中砂主体の砂層で全体に非常に密である 46.0m付近から中～粗砂主体となり、含水量やや多くなる 47.3m付近から礫を多く混入する不均一な砂層で非常に密である
-49.06	0.30	49.00	粘土	青灰		硬い	やや砂質状を呈する硬い粘土層

孔内水位(m)／測定月日: 1/6 2.10、1/7 3.10

標準貫入試験

深度 (m)	0～10	10～20	20～30	打撃回数/貫入量(cm)	N値
1.15	2	3	4	9/30	9
1.45-2.15	3	2	3	8/30	8
2.45-3.15	2	1/20		3/30	3
3.45-4.15	1/19	1/11		2/30	2
4.45-5.15	1/30			1/30	1
5.45-6.15	1/17	1/13		2/30	2
6.45-7.15	1	2	2	5/30	5
7.45-8.15	1/21	1/9		2/30	2
8.45-9.15	1/20	1		2/30	2
9.45-10.15	1/25	1/5		2/30	2
10.45-11.15	1/23	1/7		2/30	2
11.45-12.15	1	4	4	9/30	9
12.45-13.15	3	8	8	19/30	19
13.45-14.15	6	7	7	20/30	20
14.45-15.15	6	8	7	21/30	21
15.45-16.15	8	9	8	25/30	25
16.45-17.15	14	12	12	38/30	38
17.45-18.15	4	4	7	15/30	15
18.45-19.15	5	6	6	17/30	17
19.45-20.15	9	10	13	32/30	32
20.45-21.15	7	8	10	25/30	25
21.45-22.15	2	2	3	7/30	7
22.45-23.15	2	3	2	7/30	7
23.45-24.15	7	9	12	28/30	28
24.45-25.15	6	7	7	20/30	20
25.45-26.15	4	7	10	21/30	21
26.45-27.15	4	6	5	15/30	15
27.45-28.15	3	4	5	12/30	12
28.45-29.15	5	6	5	16/30	16
29.45-30.15	4	5	5	14/30	14
30.45-31.15	6	7	10	23/30	23
31.45-32.15	11	19	20/9	50/29	52
32.44-33.15	11	13	15	39/30	39
33.45-34.15	12	15	17	44/30	44
34.45-35.15	12	22	16/5	50/25	60
35.40-36.15	11	15	21	47/30	47
36.45-37.15	9	9	9	27/30	27
37.45-38.15	9	7	10	26/30	26
38.45-39.15	8	9	11	28/30	28
39.45-40.15	10	8	9	27/30	27
40.45-41.15	3	4	6	13/30	13
41.45-42.15	4	4	4	12/30	12
42.45-43.15	4	5	5	14/30	14
43.45-44.15	4	5	6	15/30	15
44.45-45.15	13	21	16/5	50/25	60
45.40-46.15	14	13	16	43/30	43
46.45-47.15	13	15	16	44/30	44
47.45-48.15	23	20	7/3	50/23	65
48.38-49.15	4	5	5	14/30	14
49.45					



原位置試験

深度 (m)	試験名および結果
6.00	孔内水平載荷試験

掘進月日: 1/5、1/6、1/7、1/8、1/11、1/12

・本資料は、工事等により現況と整合しない場合があり、現在の位置関係や地質状況などを特定するものではありません。
・本資料は、参考データとして利用し、現在の地質状況は、再度ボーリングを行う等して確認をお願いします。